



が調和したまちです。市疾患が上位を占め、外来ある44・0%の達成には街地には医療・教育機関医療費では糖尿病、腎不
等が集積し、赤城山の恵全、高血圧症、脂質異常
症が生かした農業など多症が約3割を占めるな
り、その入口となる特定進が課題となっていま
す。

令和8年3月末現在の人口は32万6186人、高齢化率は30・5%、国

保健指導室の取り組み

前橋市は群馬県の県央に位置する中核市で、赤城山の南麓と利根川流域に広がる自然と都市機能

保健指導室は、令和4年度39・3%、令和5年度39・2%、令和6年度は40・7%とやや改善がみられ、1人当たり医療費が増加した。しかし、データヘルス計画の目標値で

無関心層へ届け受診率向上策

群馬県前橋市健康部国民健康保険課保健指導室保健師 根岸陽菜子

は保健指導室を中心として進める特定健診受診率向上に向けての取り組みを紹介し、

まず、受診行動のきっかけづくりとして、特定健診受診者にインセンティブを付与する「受け得キャンペーン」を実施し、

また、受診機会の拡充として、土日に特定健診とがん検診を同時に受診できる総合健診を実施し、